

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

2023年6月1日
東村山市議会議長 あて

議席番号 24番
質問者 山田 たか子

記

1. 切望されている学校給食費無償化の前進を

給食費の無償化を訴えていると保護者だけではなく、子どもたちからも高い関心が示されて驚いている。この社会情勢で、保護者が大変な思いで給食費を用意してくれている姿を目の当たりにしている子どもたちの実態が浮かぶ。また、高校生は、高等教育の進路選択には、学費の心配をするとの声も届く。子どもたちを取り巻く教育費の高さは、国全体として大きな課題となっている。私は、どの子どもご家庭の経済状況に関係なく、学びたい・進みたいみちを選べる教育環境が必要であると考え、「義務教育はこれを無償とする」と憲法にあるように、せめて義務教育期間、市としてできることから始めていただくことを求め、伺う。

- 1) 給食費の負担が、保護者に大きな負担となっていることに対する市の見解を伺う。
- 2) 就学援助制度利用者の捕捉率を小中学校それぞれに伺う。また、準保護世帯・要保護世帯の中学校給食の喫食率をそれぞれ伺う。
- 3) 給食費未納の実態と、その対応を伺う。
- 4) 憲法第26条に則し、給食費無償化を国による財政措置で実現することを政府に求めることが重要であると考え。これまでの国への働きかけ状況を伺う。また、東京都への働きかけもあれば、あわせて伺う。
- 5) 国が、学校給食費の無償化への検討に踏み出した。その中では、学校給食の状況を検討する「課題整理」があげられているが、東村山市の課題は何であると捉えられているか。
- 6) 保護者負担軽減に段階的に取り組み、全額無償化に進んだ自治体もある。段階的な無償化をすすめていく検討を求めるが、いかがか。また、当市で第2子以降

を無償にした場合と、第2子半額・第3子以降を無償にした場合の必要額をそれぞれ伺う。

2. ベンチとトイレの充実で高齢者が元気なまちに

多くの高齢の方から、市内のベンチの少なさが指摘される。健康維持のためにも、散歩やコミュニティに参加する際へのひと休みできるベンチは、外出時に欠かせないものとなっている。また、高齢になるにつれてトイレが近くなるとの声もあり、トイレや安心して休める場が無いことで外出を諦める声も届く。健康寿命の延伸に取り組む東村山市だからこそ、力を入れていただくことを求め、伺う。

- 1) 東村山市のまちづくりにおいて、街中のベンチのあり方への認識を伺う。
- 2) 福祉の観点から、街中のベンチのあり方への認識を伺う。
- 3) これまでに把握されてきた、ベンチに関する市民の要望を伺う。
- 4) ベンチの設置には、「利用者のモラルや用地提供者へのリスクもあるため、慎重な検討をしていく」と、過去の議会答弁があった。その後の具体的な検討状況を伺う。
- 5) これまでのベンチの寄贈件数と設置個所、それに対する市の見解を伺う。
- 6) 近隣では、国立市が寄附金によるベンチ設置事業を行っている。こうした事業も一つの手段ではないか。見解を伺う。
- 7) 公衆トイレについて
 - ①市内の公衆トイレ設置個所数を伺う。また、この現状に対して市民生活に照らし合わせ、市としての見解を伺う。
 - ②現状の管理とトイレ様式化への課題があれば伺う。
 - ③ベンチ同様、強い要望がある公衆トイレを増やすべきと考える。新規の設置検討個所があれば伺う。また、現状では設置に至らずとも、市として必要性を感じている場所があれば伺う。

3. 市民の期待に応える新秋津駅前ロータリーへ

新秋津駅のロータリー改修による車道や歩道の補修が行われ、喜びの声がある一方、「これで完成なのか？」という驚きの声が数多く届く。また、せっかく行われた改修工事の周知が不十分なため、多くの市民からの不安や行政への不信の広がりを実感する。市民や利用者の声に向き合い、改善につなげていただくことを求め、伺う。

- 1) ロータリー改修の目的を伺う。
- 2) ロータリー中州部分の活用状況を伺う。
- 3) ロータリー周辺には数多くの店舗が連なっている。全店舗から、喫煙所設置の承諾は得られているのか。また、どのような説明をされたのか内容と経緯を伺う。

以上